

秀吉を欺き、清正と争い、八代をヨーロッパに知らしめた男。
今、この謎の武将の実像に迫る。



徳小西行長所用 梅花皮写象牙漆鞋 (個人蔵)

小西

ドン アゴスチーノ
DON AGOSTINHO

行長



徳小西行長所用 色々威二枚胴具足 (名古屋市秀吉清正記念館所蔵)

平成19年 10月19日(金) — 11月25日(日)
八代市立博物館未来の森ミュージアム

●入館料/大人600(480)円 高大生400(320)円 中学生以下無料 ※()内は20名以上の団体料金

●開館時間/9時~17時(入館は16時30分まで) ●休館日/毎週月曜日 11月3日(祝)は無料開放日

●主 催/八代市立博物館未来の森ミュージアム 熊本日日新聞社

●お問合せ/八代市立博物館未来の森ミュージアム 〒866-0863 八代市西松江城町12-35

TEL 0965-341555 FAX 0965-3319200

【特別講演会】博物館講義室にて 14時00分~15時30分 聴講無料

10月20日(土)「戦国武将小西行長の生涯」 講師 鳥津亮二(本館学芸員)

11月10日(土)「八代とキリスト教文化—行長から「アグネス」へ—」 講師 鳥津亮二(本館学芸員)

11月17日(土)「韓国からみた秀吉の朝鮮侵略(壬辰倭乱)」 講師 徳永裕亮(韓国・忠清大学教授)

小西行長

ドン アゴスチノ
Don Agostinho

小西行長は16世紀末に活躍した戦国武将です。豊臣秀吉に仕え、水軍の武将として頭角を表した行長は、天正16年(1588)から宇土・八代を統治。秀吉の朝鮮侵略では先鋒と和平交渉という重要な役割を担い、帰国後、慶長5年(1600)関ヶ原の戦いにおいて敗死するという運命をたどりました。また、行長は敬虔なキリシタン武将(洗礼名アゴスチノ)としても広く知られており、行長が統治していた時期の八代ではキリスト教文化が花開きました。こうした行長の人物像を解明することは、当時の八代および日本の歴史像を見直す大きな契機となるでしょう。

本展覧会では、全国各地に伝わる小西行長関係資料および当時のキリスト教文化を物語る資料を紹介し、激動の時代を駆け抜けた謎の武将・小西行長の実像に迫ります。



伝小西行長所用 鎧革包胴丸具足 江戸時代(17世紀) 個人蔵



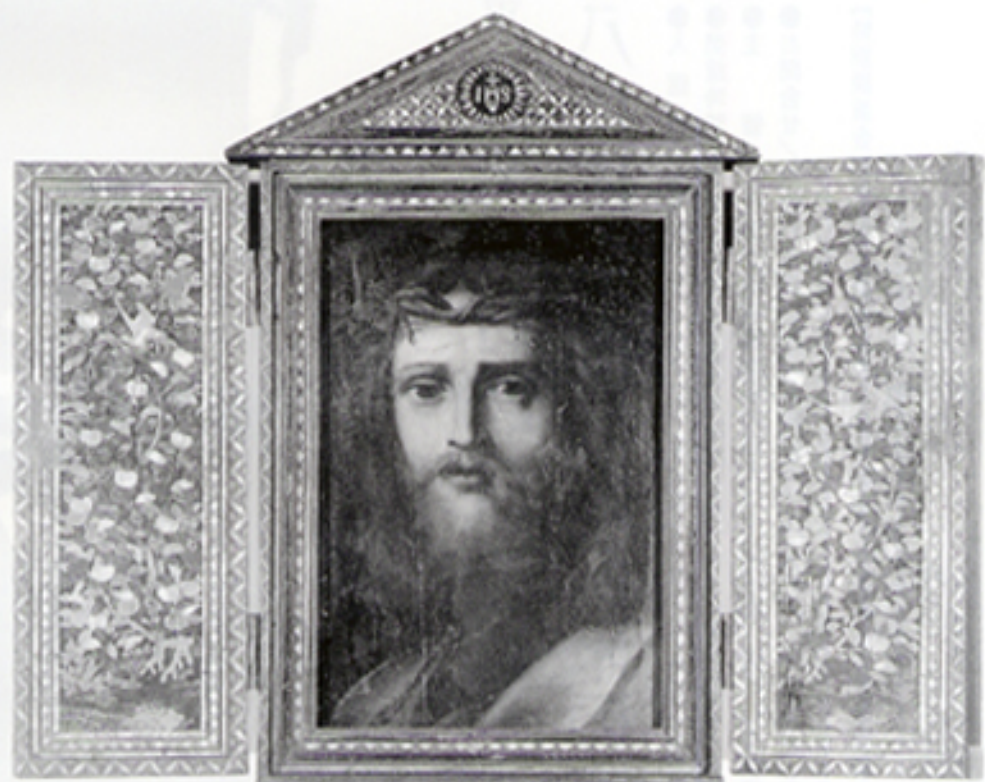
豊臣秀吉像 江戸時代(17世紀) 名古屋市秀吉清正記念館所蔵



小西行長知行宛行状 天正16年(1588) 竹田市立歴史資料館所蔵



複製文化財 豊西風俗図屏風(部分) 桃山時代(16-17世紀) 福岡市美術館所蔵 ※11月13日~25日のみ展示



花鳥繡絵額聖像 桃山時代(16-17世紀) 岐阜市歴史博物館所蔵 ※11月13日~25日のみ展示

[交通のご案内]

- JR** 鹿児島本線・肥前おれんじ鉄道八代駅下車3Km
九州新幹線新八代駅下車6Km
- バス** 八代駅から八代産交行き、北荒神町福祉センター前下車徒歩5分
新八代駅西口から/第一里辻線 杖塚庁・法務局・博物館前下車すぐ
新八代駅西口から/八代産交行き、北荒神町福祉センター前下車徒歩5分
- 車** 八代I.C.から八代港線経由で7Km



八代市立博物館

未来の森ミュージアム

<http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/museum/>

〒866-0863
熊本県八代市西松江城町12-35
TEL0965-34-5555
FAX0965-33-9200